EUへ渡航30日間禁止

欧州委員長 新型コロナで方針

【ブリュッセル共同】欧州連合（EU）のフォンデアライエン欧州委員長は16日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、非EU市民が不要不急の理由でEU入りするのを30日間原則禁止する方針を加盟国に示した。延長も可能で、加盟国の承認を得た上で実施する。欧州が世界の感染拡大の中心となる中、異例の厳しい措置で収拾を急ぐ。（1面参照）

経済へ悪影響必至

EU加盟国は17日夕、テレビ電話による緊急EU首脳会議を開催、欧州委の提案などウイルス対策について協議する。

EU諸国との出入国管理を廃止した「シェンゲン協定」に加わるスイスやノルウェーなど4カ国も対象で、ビジネスや観光への悪影響は必至。感染拡大で既に欧州経済に大きな影響が出ているが、一層深刻化しそうだ。

フォンデアライエン氏は16日の記者会見で「人の出入りが少なければ、ウイルスをよ

拡大防止へ検査徹底要求

WHO事務局長 専門家から慎重論

【ジュネーブ共同】世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は16日の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、感染者の特定が鍵を握るとして、対象を拡大して徹底的にウイルス検査を行うよう各国に求めた。「検査、検査、検査。疑わしい例は全て検査するのだ」と述べた。

だが検査範囲の無条件な拡大は医療機関のパンクを招かねず、専門家の間では慎重論が根強い。発言直後、WHOは異例の早さで発言記録を公表し「感染者と接触した人が（発熱などの）症状を示した場合にのみ、検査を行うことをWHOは勧めています」と目立つ形で注釈を付した。テドロス氏の警告が混乱を招かぬよう、火消しに走ったとみられる。

一方、WHOで緊急事態対応を統括するライアン氏は16日、各国が相次いで導入している入国制限措置について「包括的な感染拡大防止策の一つにすぎない」と述べ、乱用しないよう訴えた。

専門家の多くは、安易に検査対象を拡大すると医療機関が対応に追われ、本来集中すべき重症者への治療に手が回らなくなると指摘。新型コロナウイルスはワクチンも未開発で、感染が判明しても特効薬はない。検査精度も完全ではなく、実際は感染しているのに陰性となった人が、安心して他人と接触する方が、感染拡大の危険性は増すと懸念されている。

全入境者を強制検疫

香港 住民の渡航自粛も要請

【香港共同】香港政府は17日、新型コロナウイルス感染拡大を受け、台湾、マカオ以外の国・地域から訪れる全ての入境者について、19日から14日間の強制検疫の対象とすると発表した。香港住民に対し「海外の全ての国・地域」への渡航を自粛するよう要請した。

林鄭月娥行政長官は17日の記者会見で「各国で爆発的な感染拡大が起きている。香港で過去2週間に確認された感染者57人のうち50人が海外からの流入だった」と対策の必要性を説明した。

香港の感染者確認は17日までに162人。入境者に対する強制検疫は自宅かホテルでの隔離となる。中国本土については2月8日から同様の措置を取っている。

感染治療へ中国「アビガン」採用

インフルエンザ薬

【北京共同】中国科学技術省は17日の記者会見で、新型コロナウイルス感染症の治療に関し、日本でインフルエンザ薬「アビガン」として知られるファビピラビルの有効性を臨床研究で確認し、政府の診療方針に正式に採用する方針だと発表した。

アビガンは富士フイルム傘下の製薬会社「富士フイルム富山化学」（東京）が開発した。日本でも新型ウイルスによる肺炎の治療のため患者への投与が2月から始まっている。

欧州各国「握手やめよう」

感染防止で呼び掛け

ドイツのゼーホーファー内相（中央）に握手を拒まれたメルケル首相（左）＝2日、ベルリン（ゲッティ＝共同）

【ブリュッセル、ベルリン共同】欧州で新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、各国政府はあいさつの際の握手を避けるよう国民に呼び掛けている。ただ、握手は欧米の習慣。オランダのルッテ首相は9日、テレビで「今日から握手をやめよう」と訴えた直後、隣にいた保健当局者と握手してしまい苦笑い。長年の伝統を変えることの難しさを自ら示した。

ドイツのベルリンでは2日、メルケル首相が会合に同席したゼーホーファー内相に右手を差し出したが、ゼーホーファー氏はそれを制し、握手を返さない一幕があり、他の出席者からは大きな笑い声が起きた。

チャールズ英皇太子は最近、あいさつの際に相手に触れず、胸の前で手のひらを合わせるポーズを多用。ただ、エリザベス女王は依然として握手をするという。

長い伝統 切り替え難航

10人超の集会「自粛を」

米大統領 15日間の行動指針公表

トランプ氏の指針は、家族が感染した場合は家族全員が自宅にとどまるよう要請。学校は感染拡大を助長するとして、流行地域では休校すべきだと知事らに呼び掛けた。

日本人演奏家 乗客を激励

寄港拒まれた旅客船

クルーズ船「ブレイマー」で乗客と交流するピアニストの平井元喜さん（中央）＝12日（平井さん提供）

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の中、英国発のカリブ海クルーズ船で感染例が見つかり、各国が乗客上陸を拒否、どこにも寄港できない状態になった。乗客は英国人中心に約700人で高齢者も多数。船上リサイタルのため乗っていた日本人ピアニストが、不安を和らげようと乗客と交流を続けた。

英ロンドンを拠点に活躍するピアニスト平井元喜さん（47）がクルーズ船「ブレイマー」の船内放送で乗客ら5人の陽性反応を知ったのは10日。8日にコロンビアの港で下船できたのを最後に、乗客らはどの国でも上陸を断られた。交渉の末、船は16日に乗客上陸を認めたキューバに向かうことになった。

演奏家として乗船した平井さんは、乗客から乗員との「中間的立場に見られている」と感じる。不安を隠し、船内で出会った人々に積極的に声を掛け会話を続けている。

「今から話すこと、悪く思わないでくれ」。平井さんと親しくなった77歳の英国人医師が厳しい口調で語りはじめた。ビルマ戦線での日本軍の行為を現地調査した人だった。残酷だったと訴える横で、別の英国人は「でも英国もインドにひどいこと（植民地支配）をしてきた」となだめた。医師は平井さんを最後に強く抱擁し「僕らは今まで通り友達だからな」。

コロナウイルスの不安に揺れる船が生んだ思わぬ交流。平井さんは「日本では原爆を振り返り平和を訴える。一方、自分たちのしたことはあまり知らないが、英国人がインドでしたことを学ぶように歴史を公平に見ていきたい」と振り返った。

平井さん積極的に声掛け

沈静化「7月か8月」

米大統領 五輪開催に影響も

【ワシントン共同】トランプ氏は、沈静化の見通しについて「私も何度となく専門家に尋ねている」と話し「7月か8月、それ以上長くはならないと言われている」と語った。

トランプ氏はこれまで、東京五輪を予定通り開催するかどうかは日本が判断すべきだとした上で「無観客で実施するよりは1年延期した方が良い」との考えを示していた。

東京五輪の開催是非の判断などにも影響する可能性がある。

トランプ氏は、沈静化の見通しについて「私も何度となく専門家に尋ねている」と話し「7月か8月、それ以上長

ハンクスさん 豪病院を退院

妻は入院続く

【シドニー共同】新型コロナウイルスに感染したことを公表していた米人気俳優トム・ハンクスさん（63）＝写真＝が入院先のオーストラリア北東部ゴールドコーストの病院を退院した。オーストラリア放送協会が17日伝えた。

同じく感染した妻で女優のリタ・ウィルソンさん（63）は当面、隔離病棟での入院を続ける。

英の人

感染確

イドリス

【ロンドン

米 経済対策へ90

感染症影響防止

【ワシントン共同】米紙ワ

第72回 沖展 中止のお知らせ

沖縄タイムス社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ANAアリーナ浦添（浦添市